

地域コミュニティの取組に関する調査（藤枝市）

平成27年8月

○藤枝市の概要

人口	146,737	人
世帯数	56,883	世帯
小学校区数	27	校区
自治会等名称	自治会	
自治会等数	52	
自治会等加入率	87.5%	※平成27年4月1日現在

○藤枝市の取組

担当部局	<ul style="list-style-type: none"> 担当部局は、市民文化部協働政策課で、地域コミュニティの推進に関することや、地区行政センターに関する業務など、自治会・町内会の窓口となっている。あわせて、市民活動団体支援室では、NPO・ボランティア等の市民活動団体の活動を推進している。
取組の経緯	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年3月に「藤枝市新市民協働指針・行動計画」を策定。地域課題の解決に向けた連携の強化に努めるとしている。
財政的支援	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会活動への支援…自治会への交付金、集会所設置費補助金など 地域からの提案に基づく事業への支援…協働で元気なまちづくり事業 行政センター単位で地域の課題等の解決に向けた事業に対して支援。住民からの提案を受けて事業を実施。 市民の自主的で公益的な活動への支援…まちづくり総合補助金（スタート、ステップ、ジャンプアップ支援）
人的支援	<ul style="list-style-type: none"> 10地区の公民館の中に行政センターを設置しているが、平成27年度から3館をモデル地区として組織と人員体制を見直し、地区交流センターへ名称を変更。地区交流センターを地域拠点としたまちづくりに取り組んでいる。 地区交流センターに市職員を配置（交流センター長1名、職員1名）。 ふじえだ市民活動支援センターにおいて、各団体等への情報提供や相談、講座や市民活動交流会を実施している。

○マークス・ザ・タワーの取組

団体概要・組織	<ul style="list-style-type: none">・ 「マークス・ザ・タワー藤枝」 藤枝駅前に建設された全 159 戸からなる新築マンション 管理組合理事長 八木 哲 氏。・ 平成 24 年 3 月 マークス・ザ・タワー藤枝 入居開始 自動的に管理組合発足 ※八木氏は理事長に就任 ※H24. 4～H25. 3 まで理事長が役員（自治会等）も担っていた・ 平成 25 年 4 月 町内会発足・ 平成 27 年 3 月 管理組合法人を設立
拠点施設	<ul style="list-style-type: none">・ マンション内の共有スペース 1 階（エントランスホール、テラス部分）、2 階、18 階（スカイラウンジ）・ 当該マンションには、建設当初から共有スペースが存在。
理事長就任の思い	<ul style="list-style-type: none">・ 以前住んでいたマンションでは、隣の人くらいしか知り合いはいなかった。ドア一つで隔離してしまうマンションにおいても、コミュニティづくりが可能という思いを以前から抱いており、マンション購入に当たって、終の住み家にするなら何かやってやろう！という意欲の高まりから、理事長に就任。・ マンション内に共有スペースがあったことや町内会が発足したことから、その活動は活発化している。コミュニティづくりは十分取り組むに値するという思いが、理事長としての活動の原動力となっている。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">活動内容</p>	<p>①「ぼく・わたし・パパ・ママ交流会」</p> <p>マンション最上階の広い角部屋で乳児と2人だけである若い母親を見て、幼稚園や保育園、小学校に入れば親同士の交流は生まれるが、幼稚園前の子育て中の母親には交流する機会が非常に少ないと感じた。そんな母親同士が知り合うきっかけを作りたいという思いから実施。</p> <p>自己紹介をゲーム形式で行い、お互いを知るきっかけ作りを行った。</p> <p>②持ち寄りパーティー</p> <p>参加者は料理を1品と飲み物を持参の上、懇親会に参加。回数を重ねるごとに参加者も増え、お互いの距離を縮めることができた。</p> <p>③夏祭り（かき氷や綿菓子、ビアガーデン）、文化祭</p> <p>④ミニイベントの実施</p> <p>夏には夏の、冬には冬の「季節」を感じることができるようイベントを企画・実施。</p> <p>夏：七夕飾り、花火</p> <p>冬：クリスマスツリーの飾りつけ、マンション屋上から初日の出遥拝</p> <p>⑤防災訓練（避難訓練、屋上見学）</p> <p>住人に消防関係の仕事に就いている人がいることを知り、それをきっかけに消防署の協力を得て、消防署員や消防車両8台を呼び、はしご車の訓練も行うことができた。</p> <p>⑥365日いつでも資源ごみ・不燃ごみを出せる体制づくり</p> <p>回収を業者委託にすることで、毎日資源ごみ等を出せるようにした。</p> <p>ゴミ庫に立ち会う当番を志望制にした（報酬1,000円/30分）。</p> <p>当番に立つことで全住人と顔を合わせ、挨拶を交わし、さらには自分の顔も知ってもらえるという貴重な機会を作ることができた。</p> <p>⑦3町合同秋のフェスタを開催</p> <p>近隣の2つのマンションに声をかけ、公園で交流会を開催。これを好機として、他地区との交流を開始した。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">活動における工夫・留意点</p>	<p>①「この指とまれ！」の有志が集まることとして、参加懇願、参加強要はしない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンションでは多様な価値観を持つ人がいるので折り合いも大事。 ・参加したい人だけが参加すればよい。 <p>②活動案内には、内容だけでなく、趣旨説明・意義等を記す。</p> <p>③活動のたびに掲示・広報を欠かさない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存に設置された掲示板を最初の7倍に拡大。 ・活動の案内や活動報告（写真付き）、活動参加のお礼まで、少しでも変化があったら機を逃さずに広報する。 ・マンション入居者のみが見ることができるHPを活用。

<p>苦勞した点</p>	<p>①入居後1年は、町内会も発足していなかったため、管理組合理事長は、町内会のすべての役員を1人で請け負わなければならなかった。その中で、企画・準備・実行・片づけ・広報まですべて八木氏（と妻）が行っていたことが大変ではあったが、これを続けることでコミュニティが形成される未来のことを考えると決して苦にはならなかった。</p> <p>あわせて、活動を行うごとにお手伝いを申し出てくれる住人が出てきたことで、負担も緩和され、イベント内容も充実させることができた。</p> <p>②居住者一覧表の配布にあたっては、個人情報に対する過剰反応へ対応するため、個人情報保護法について正しい理解を持ってもらい、過剰反応を防止するための説明文と、配布する名簿の内容、利用目的を明記したチラシを、事前に配布した。</p>
<p>活動の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ マンション内に知り合いができることであいさつや立ち話が活発になった。 ・ 活動を重ねることで、参加率が向上した。 ・ 新町内会役員・委員への就任打診をしたところ、全員が即時快諾してくれた。
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独居老人への対応（非常時の鍵の管理） 管理会社である管理員も各戸の鍵は持っていないため、救急車を呼んでも緊急時に部屋に入ることができない。独居老人や病気を抱える人への対応（鍵を事前に預かる等）を今後考えていく必要がある。 ・ 御達者確認 週イチコール 65歳以上の独り暮らしの方々に週1回管理人から内線コールをかけて、声掛けを行う取組。 ・ エレベーターでつながっていて集合しやすいというマンションの環境は、各種イベントには好都合である。その環境を更に良いものにしていくよう配慮し、試行し、断行していくことが肝要である。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までは「この指とまれ！」でやってきており組長が不在となっている。将来を見越した組織づくり・後継者づくりのためにも組長を立てる必要性を感じている。 ・ 各種イベントを通して人材を発掘していき、その人が気持ちよくやっていける素地を整えることが理事長の役目と考える。